

株式会社小滝電機製作所

秋田県大館市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

スピード・シンプル・アグレッシブをモットーに、生産技術力の強化により低コスト化、短納期の実現

- 自社開発の自動機による高品質な供給体制が国内主要自動車メーカーから評価されている
- 未然防止を主体とした品質管理プログラムであるP・D・Eシステムによる高品質な製品
- ライン系のみならず、自動機開発のため、エンジニア人材の積極的な雇用

企業基本情報

所在地	秋田県大館市釈迦内字上袋6番地6
電話/FAX	0186-59-7131/0186-59-7132
URL	http://www.otaki-elc.co.jp/index.html
代表者	代表取締役社長 伊藤 春美
設立	1980年
資本金	1,000万円
従業員数	178人



会社概要

1980年、秋田県比内町に設立。2003年以降、家電製品から自動車産業への業種転換を図り、車載用高輝度LEDランプ搭載基板組立の生産に力を入れ、当該製品は、国内主要自動車メーカーの各種照明灯として、幅広く搭載されている。生産設備を内製化する事で、使い易さを追求し、設備の故障リスクを解消した。自動検査装置は高輝度発光体であっても輝度の数値レベル化、発光色のRGB比率の数値化を瞬時に表現することを可能にしている。

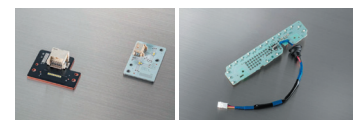


会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 自動化及び高品質化への取り組みが主要メーカーから高評価

高まる需要と、海外へグローバルに供給する事が求められており、品質の標準化に向け、同社で開発した自動機を多数導入し、はんだ付け、基板分割、防湿剤塗布、性能検査など幅広く活用し、安定した高品質のものづくりに取り組んでいる。こうした自動化や高品質な製品の供給体制が評価され、大手自動車ランプメーカーへの前照灯(ヘッドランプ)や標識灯(ストップランプ、サイドターンランプ等)の供給につながった。自動化を進める事で、熟練工に依存するものづくりからの変化をもたらした。



車載用LEDランプユニット

▶▶▶ P・D・Eシステムによって不良を未然に防止

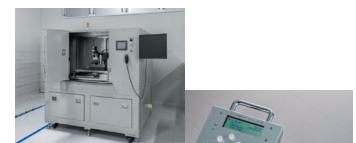
設計構想から量産導入までにおける各イベントごとの問題点を洗い出し、100%の未然防止策を講じ量産導入を図るP・D・Eシステム(Process Defects Elimination System)を構築。各イベントは、部門長の承認を得なければ次イベントに進むことができないよう、組織的活動による未然防止型システムとなっている。資格認定制度を通じ、各作業に資格認定者を配置する事と、非正規雇用から一般職社員として採用し、雇用の安定と品質の安定化を図った。



自社開発自動設備

▶▶▶ 自動機の開発のため、エンジニアを積極的に採用

自動機の開発のため、技術系人材の採用を積極的に行っている。技術者の採用にあたっては、官公庁や大学、高等専門学校などの産学官連携を通じ、学生の積極的な採用を行っている。さらに、大手メーカーとも共同開発のプロジェクトを通じ、若い社員に積極的に技術提案を行う場を与えている。従業員の安定雇用と優秀な人材の確保を目的とした、雇用期限の定めのない一般職を新設、正社員への転換を実施することで地域の雇用も積極的に行っている。



特許 / 実用新案